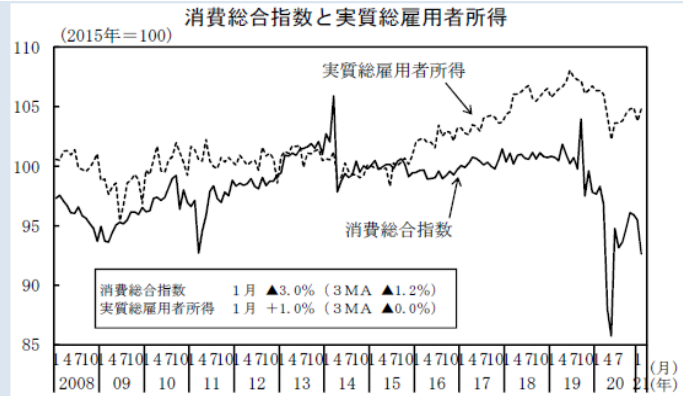


月例経済報告（2021年3月）

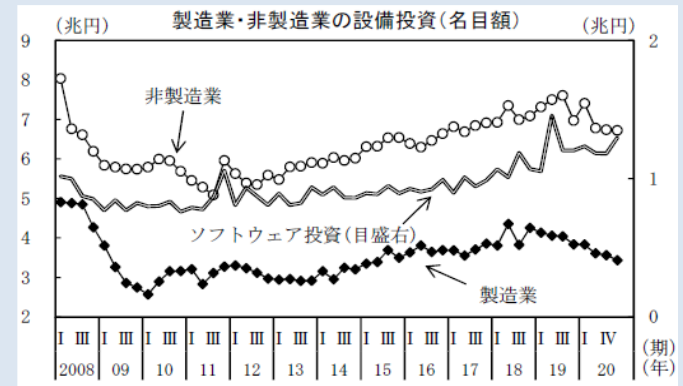
● 月例経済報告（3/23）

基調判断	(3月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、 <u>感染の動向が内外経済に与える影響</u> に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(2月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

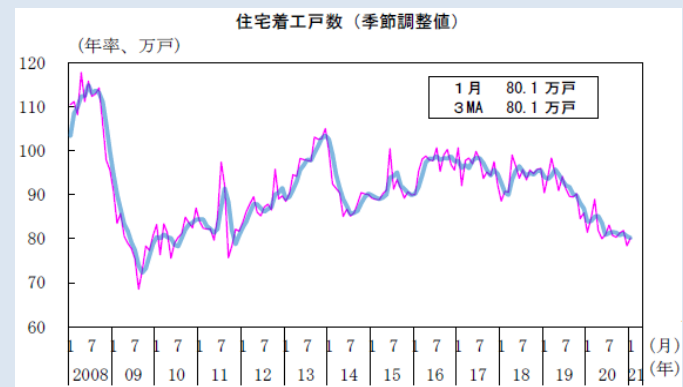
個人消費	(3月) このところ弱含んでいる。
	(2月) このところ弱含んでいる。



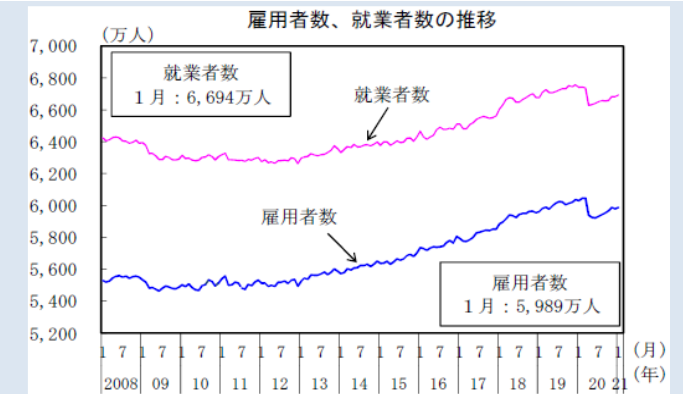
設備投資	(3月) このところ持ち直しの動きがみられる。
	(2月) このところ持ち直しの動きがみられる。



住宅建設	(3月) おおむね横ばいとなっている。
	(2月) おおむね横ばいとなっている。



雇用情勢	(3月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
	(2月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。



<p><b>生産</b></p>	<p>(3月) 持ち直している。</p> <p>(2月) 持ち直している。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																
<p><b>輸出</b></p>	<p>(3月) <u>このところ増勢が鈍化している。</u></p> <p>(2月) 増加している。</p>	<p>地域別輸出入数量指数 ①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>2月 ▲3.4%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲0.7%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>2月 ▲9.0%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲0.0%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>2月 ▲3.2%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲3.7%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>2月 +2.6%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲7.6%</td> </tr> </table>	全体	2月 ▲3.4%	3MA	▲0.7%	アジア	2月 ▲9.0%	3MA	▲0.0%	アメリカ	2月 ▲3.2%	3MA	▲3.7%	EU	2月 +2.6%	3MA	▲7.6%
全体	2月 ▲3.4%																	
3MA	▲0.7%																	
アジア	2月 ▲9.0%																	
3MA	▲0.0%																	
アメリカ	2月 ▲3.2%																	
3MA	▲3.7%																	
EU	2月 +2.6%																	
3MA	▲7.6%																	
<p><b>国内企業物価</b></p>	<p>(3月) 緩やかに上昇している。</p> <p>(2月) このところ緩やかに上昇している。</p>	<p>企業物価の推移</p>																
<p><b>消費者物価</b></p>	<p>(3月) 横ばいとなっている。</p> <p>(2月) 横ばいとなっている。</p>	<p>消費者物価の推移</p>																
<p><b>海外経済</b></p>	<p>(3月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(2月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																	